

○締まってきた国会論戦

岡田新体制が順調に滑り出しています。まず国会の議論です。大事な争点が浮き上がってきました。

経済政策では、アベノミクスによる格差の広がりが指摘されます。同時に、前例のないレベルでの日銀の量的緩和と、自民党の公共事業を中心とした財政出動が、金融財政分野で行き詰まり、破綻する可能性が指摘されるようになってきました。このままでは、危ないということです。

安全保障分野では、機雷の掃海などは戦闘状況の最中であってもやるのだ、という総理答弁が出てきました。また、米軍の後方支援は、現行の法律で地理的に周辺事態だけだと限定していたものを、一挙に世界中に広げることが可能にする法改正が与党の間で議論されています。安倍総理が当初言っていた内容からは、はるかに自制された内容になってきましたが、しかし、なし崩し的な自衛隊の武力行使の拡大には違いありません。私は、海外での自衛隊の活用、特に武力を前提とする活動に対しては、これまで通り、自重し抑制することが正しいと思っています。

労働分野では、サービス残業を合法化するような「労働の時間でなく成果で評価される賃金体系」(ホワイトカラーエグゼンプション)の法案が、派遣労働の無期限化の法案とともに出てきます。格差拡大の要因になっている派遣労働を固定化する流れや、少子化の問題も含め日本人の生活基盤を立て直す基本の大事な要素である長時間労働の解消は、逆にそれを助長する流れを作ろうとしています。政府は、労働法制の分野でも必要な方向とは真逆にハンドルを切ろうとしているのです。

ISIL による残虐な人質事件、また、テロへの対応についても、しっかりとした検証をすることで、次の手立てを立てることが必要です。

○地方選挙と期待される政策課題

地方選挙が近づいてきました。足元からしっかりと固めることが大事だと思っています。新政みえの県議会議員と、私たちの仲間の市議会議員の全員当選を目指します。

三重県も行政の正念場を迎えています。人口減少が極端に表れるであろう南勢地域のコミュニティや自治体に対して、行政サービス機能を県が直接担って提供していく仕組みが必要です。市町村だけでなく、県事業として広域かつきめ細かく取り組むための制度と仕組みづくりをぜひ考えて欲しいと思っています。

介護分野では、地域包括ケアシステムをコミュニティーレベルで機能させていくことなどが最大のテーマになっている中で、南勢地域など高齢世帯の割合の高い地域への県の直接関与を期待します。

防災分野では、南海トラフ地震のような広域大災害に対応できる人材をそれぞれの自治体に育て、配置するために、内閣府の実施研修と教育を兼ねたプログラムに各自治体から担当者を派遣すべきだと進言しています。

産業分野では、特区制度をうまく活用して、東京に集中する大企業の本社を三重県に誘致することを提唱すべきだと思います。企業が地方に本社を構えることが、東京に集積するより、リスクも低く、税制メリットもあり、インフラも便利だとなるような誘致スキームを国に提案し、戦略産業中枢機能特区と名付けて挑戦してはどうかと言っています。エネルギーバランスの将来を見ると、水素は注目すべき要素です。四日市に製造拠点があるだけに、国がスタートしている燃料電池車のモデル事業に三重県もぜひ手を挙げて広く先鞭をつけるべきです。

企業内保育や小規模家庭保育など新たな類型を推進することや、学童保育と放課後児童クラブの縦割りを克服して融合利用するスキームの創出は、税金を有効に使うことにもなります。

学校教育では、コミュニティースクールと少人数学級の推進で、地域社会全体で教育を考え、きめの細かい学習環境を作ることが、三重県は低いと言って問題になっている学習レベルの向上につながるから、県も市町村も挑戦して欲しいと言っています。三重大学、名古屋大学、岐阜大学、静岡大学などは、合併して、国立中部圏大学のそれぞれのキャンパスとし、特徴のある研究分野に思い切った集中投資の体制を作ること、世界に伍していく大学改革を目指すべきです。

三重県でも進めたいことがたくさんあります。地方議員の皆さんとともに一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。

○「夢」とマッサン

NHKの朝ドラ、「マッサン」が好きです。地元の町と私の名前を組み合わせた「亀山マサハル」さんです。妻役のエリーが何とも優しく、うっとりしています。夢を追い続け、幾多の挫折があっても、さらに挑戦をする人生。どんな時代になっても、人が夢を持ち続けることのできる社会環境を作る。私の目標でもあります。

新春の集いには、大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございます。

昨年末の衆議院の解散・総選挙を経て、今年の新春の集いで皆さんにお会いできたことは、また格別の嬉しさがありました。

今春には統一地方選挙があります。仲間の議員とともに、それぞれの課題に一つ一つ取り組んでいきたいと思えます。多くの仲間への応援、よろしくお願いいたします。

党员・サポーター募集中

日頃、民主党の活動を応援して下さい、感謝申し上げます。

今年も、党员・サポーター募集のお願いをしています。毎年、ご登録下さり、お支えいただくことに、感謝申し上げます。

すでにご登録いただいた皆様には、再度のお願いとなり、申し訳ございません。

多くの皆様にお支えいただきながら、巨大与党に対峙していくのは民主党しかない、という思いが、やっと、少しずつではありますが、形になってきたのではないかと、思っています。

引き続き、党员・サポーターとして、民主党を支え、ともに活動して下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。